

**在宅介護で「ケアマネ」ジャーさんにお勧めしたい 感染症に配慮し福祉用具を活用した介助法**の研修会(オンライン型)無事終了しました！

(開催日時:令和3年10月22日 15:00~16:30)

<当ブロックで初めての自主企画でのZoom研修>



<研修で使用したスライドの一部>

感染率を下げる視点

- 距離をとる
- 正面を避ける
- 接触回数を減らす
- 滞在時間を短くする

ポイント

- 動作を行う空間や支える場所を設ける
- 力が出やすい体の向きや位置に変更する
- 体の重さや摩擦が何処に掛かっているか考える
- 何処に力を加えれば効率の良い動きが出せるか考える

・今回の研修会の開催は、現在行われている一般的な対策の「手洗い」「うがい」「消毒」「換気」「検温」「マスク着用」「ワクチン接種」だけで本当に十分なのか？という視点で「他に何か有効な事が無いのか」との思いを主軸に置き、ふくせんとして「福祉用具を活用した介助法」をご紹介させていただきました。

・感染症に配慮した最新の福祉用具のご紹介や当県ブロック「B会員」(介護福祉士)の在宅介護での実体験を交えながら「福祉用具を活用した介助法」をご紹介させていただきました。

・研修会を通じて「身体状況に合わせた福祉用具活用を行う事で、利用者に接近せず、接触回数を減らす事で感染率を下げる」というメッセージを感じる事ができ「これから先の在宅介護に必要な視点」であると思えました。

・今回の研修会では、30項目の場面を準備していましたが、研修会の後半は少し駆け足になりましたが「在宅介護の各場面での感染症リスク軽減を考えるきっかけ」になれば幸いです。

ふくせん長崎県ブロックは、これからも「在宅介護での福祉用具活用推進」を発信していきます！

